

令和3年度 国有林野の管理経営に関する基本計画の  
実施状況（案）参考資料

- (1) ホームページ掲載事例 . . . . . 1
- (2) 過去のデータ（推移） . . . . . 5
- (3) 「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」と  
「森林・林業白書」 . . . . . 33



# (1) ホームページ掲載事例

## 事例Ⅰ 庁舎整備における木材利用

(関東森林管理局)



- ・福島県南会津郡(みなみあいづぐん)南会津町(みなみあいづまち)南会津支署
- ・庁舎内部



- ・福島県いわき市磐城森林管理署 旅人・貝泊(たびと・かいとまり)合同森林事務所
- ・CLTが見える状態で仕上げた内壁

林野庁では、公共建築物における木材の利用に取り組んでいます。特に、工期の短縮や基礎工事の簡素化が可能のため、非住宅・中高層建築物での木材利用拡大においてCLTが注目されています。

関東森林管理局では、CLTを積極的に活用することとして、令和3年度は、南会津支署及び磐城森林管理署旅人・貝泊合同森林事務所においてCLTパネル工法により庁舎の建替えを図りました。建替えに際しては、木材が来庁者等の目に触れるよう内装の木質化を図りました。南会津支署の全木材使用量は約130㎡(うちCLT約30㎡)、旅人・貝泊合同森林事務所の全木材使用量は約25㎡(うちCLT約18㎡)でした。

内装を木質化したことで、庁舎内に木の持つ柔らかな雰囲気を感じ、来庁者等から木材の表情を直に感じていただいています。

今後も、庁舎整備に当たっては積極的に木材の利用を推進することとしています。

## 事例Ⅱ 林業大学校と連携した人材育成

(東北森林管理局 秋田森林管理署)



- ・秋田県秋田市(あきたし)
- ・連携協定式



- ・秋田県秋田市(あきたし)財ノ神(ざいのかみ)国有林
- ・秋田林業大学校生による植栽

東北森林管理局では、国有林と民有林が連携し、森林を活かした地域経済の活性化等に取り組むことを目的として、平成26年9月に秋田県と「秋田を元気にする緑の覚書」を締結しました。その後、覚書に基づく取組の一環として、秋田森林管理署と秋田林業大学校との間で研修フィールドの提供を始めとした「人材育成に関する連携協定」を令和3年3月に締結しました。

令和3年度は、林業大学校の実習がより実践的なものとなるよう、国有林での事業発注における作業仕様や注意事項に沿って、伐採跡地で地植え・植付作業の実習を行いました。また、協定が締結されているエリア内において請負事業を実施している事業体2社が林業大学校生のインターンシップを受け入れる等、実践を意識した取組となるよう進めています。

今後も、林業大学校との連携協定を踏まえ、より実践的な技術と知識を習得するフィールドとして国有林野を提供し、林業の人材育成を図るための支援に取り組みます。

### 事例Ⅲ 木の文化を支える森づくりを学ぶ

(東北森林管理局 岩手南部森林管理署)



- ・岩手県奥州市(おうしゅう) 衣川(ころもがわ)小学校
- ・(左) 平泉文化と森林の関わり等を講義 (右) ヒバの年輪かぞえ

岩手南部森林管理署では、平成21年、地元の平泉古事の森育成協議会と協定を締結し、木の文化を支える森として「平泉古事の森」を設定しました。この協定に基づき、同署では、世界文化遺産に登録されている平泉地域の寺社・仏閣等の歴史的建造物の修繕等に必要なたけの材を育成しつつ、地域と連携しながら、次世代を担う地元の小学生に木の文化継承する上で、ふるさとを伝えることの重要性について意識醸成を図っています。

令和3年度には、地元小学校(4校)の児童を対象とした森林教室を開催し、平泉文化と森林の関わり、文化財に使用されている木材の特徴、森林の機能や育成の流れを説明した後、家庭で、児童たちは、丸太切り、年輪数等を体験しました。これらの取組を通じて、森林の大切さや木材と生活の関わりを始め、森林と文化のつながりに対する児童の関心が高まった様子がうかがえました。

引き続き、地域の歴史的建造物など木の文化の継承に貢献する森林づくり活動や森林教室等の活動に取り組んでいくこととしています。

### 事例Ⅳ 分収造林制度の活用による漆生産

(東北森林管理局 岩手北部森林管理署)



- ・岩手県二戸市(にのへし) 漆澤第一(うるしざわだいいち)国有林
- ・(左) 植樹祭に参加した地元小学生等
- ・(右) ウルシや漆器素材となるトチノキを植樹

岩手県二戸市では、国産漆の約7割を生産しており、同市では「地域おこし協力隊」を募集し、漆掻き技術の継承や、安定的な生産量を確保するためのウルシ林の拡大等に取り組んでいます。

岩手北部森林管理署では、ウルシ林の造成に適した国有林野を分収造林契約の締結により二戸市に提供し漆生産量の増加と、漆掻き技術を継承するための人材育成に協力しています。

令和3年度においては、分収造林契約を締結し、二戸市の主催により、11月に「漆うるわしの森植樹祭」を開催し、地元小学生を含む計11団体と岩手北部森林管理署職員の見計約150名が、ウルシ500本と漆器素材となるトチノキ100本を植栽しました。

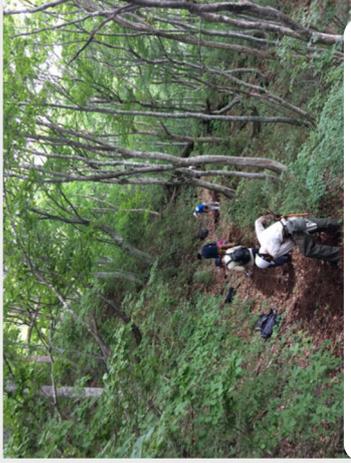
今後も国産漆の生産量増加を目指す二戸市を支援するため、同署管内の漆生産に適した国有林野の活用を継続していきます。

## 事例Ⅴ 古道（トレイル）の整備による地域振興

### （中部森林管理局 北信森林管理署）



- ・長野県飯山市(いいやまし)大神楽(だいかぐら)国有林
- ・信越トレイルを代表するフナ林



- ・新潟県中角沼郡(なかかうおぬまぐん)津南町(つなんまち)
- ・延伸ルートの整備

北信森林管理署では、旧道・古道（トレイル）に多くの方が訪れることが、地域の活性化、観光振興に寄与することから、NPO 法人信越トレイルクラブと協定を締結し、同NPOを中心としたボランティアによる持続的なトレイル整備が進められています。

新潟・長野の県境に位置する関田山脈の歴史ある旧道・古道の一つ、斑尾山から天永山まで約80kmの信越トレイルに加え、天永山から苗場山までの約30kmのルート延伸に向けて、新潟県津南町、長野県栄村の古道や歴史、自然に詳しい有識者、新潟県・長野県職員等、信越トレイルクラブ事務局が中心となって、ルート調査、資源調査、地権者確認、集落ごとの住民説明会等を行ってきました。令和3年度には、多くのボランティアの方々とともに実施してきた延伸区間のトレイル復元作業、道標の設置等が完了し、公式マップやガイドブック、ホームページ等も作成されました。将来的には、今回整備した「信越トレイル」と、その西側にある「あまとみトレイル」をつなぎ、約200kmのロングトレイルの整備を目指すとしています。

今後も引き続きトレイルの整備に協力し、地域振興にも貢献していくこととしています。



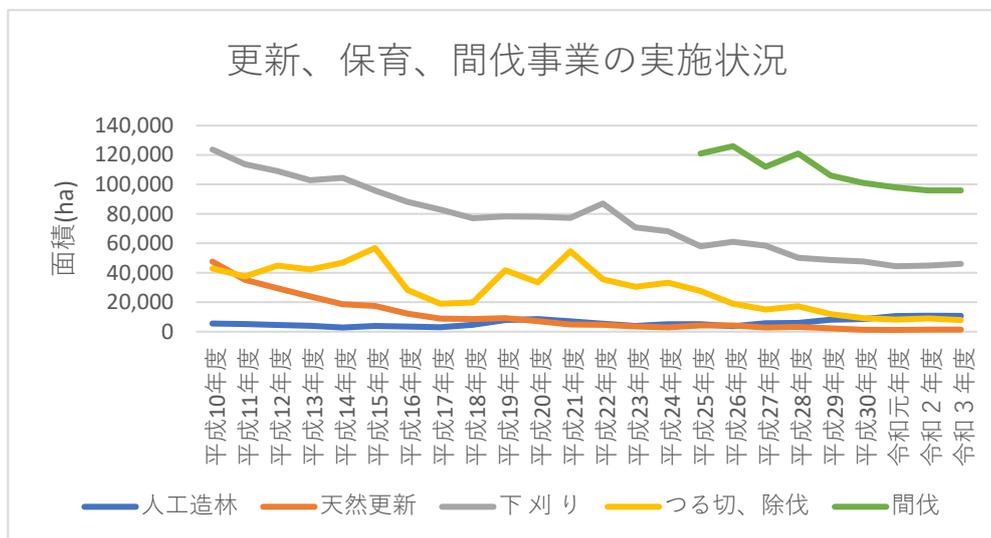
(2)過去のデータ(推移)	ページ
更新、保育、間伐事業の実施状況	6
森林土木工事における木材・木製品の使用状況	7
国有林野事業の現場を活用した現地検討会等の実施状況	8
大学及び試験研究機関との協定数	9
国有林野における伐採と造林の一貫作業の実施面積	10
複数年契約による間伐等事業の状況	11
森林共同施業団地の現況	12
教育関係機関等との連携による森林環境教育の取組状況	13
分収林の現況面積	15
松くい虫被害の状況と対策	16
国有林野におけるシカ捕獲頭数	18
国有林野事業における立木の伐採量	19
国有林材供給量(丸太換算)	20
国有林野事業における素材(丸太)供給量	21
民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材(丸太)供給実績	22
民有林と連携したシステム販売による木材供給量	23
国有林野の用途別貸付け等の状況	24
国有林野の用途別売払い状況	25
レクリエーションの森の現況及び利用者数	26
請負事業等における重大な災害の発生状況	28
国有林野事業の債務返済状況	29
林産物等販売の状況	30
職員の災害の発生状況	31
森林管理局・署における森林総合監理士の育成状況	32

更新、保育、間伐事業の実施状況

	更新 (ha)		保育 (ha)		間伐(万ha)
	人工造林	天然更新	下刈り	つる切、除伐	
平成10年度	5,507	47,665	123,699	42,930	-
平成11年度	5,239	35,240	113,678	37,556	-
平成12年度	4,592	29,444	109,047	44,894	-
平成13年度	4,029	23,952	102,897	42,251	-
平成14年度	2,830	18,672	104,469	46,854	-
平成15年度	3,924	17,404	95,805	56,834	-
平成16年度	3,502	12,217	88,102	28,335	-
平成17年度	2,992	8,838	82,909	18,978	-
平成18年度	4,643	8,561	77,054	19,821	-
平成19年度	7,948	9,204	78,266	41,710	-
平成20年度	8,517	7,122	78,029	33,461	-
平成21年度	7,022	4,904	77,313	54,616	-
平成22年度	5,372	4,612	87,033	35,573	-
平成23年度	3,903	3,626	70,774	30,426	-
平成24年度	5,081	2,907	68,152	33,312	-
平成25年度	5,117	4,278	58,040	27,587	12.1
平成26年度	3,665	4,224	61,010	18,989	12.6
平成27年度	5,745	2,768	58,468	15,102	11.2
平成28年度	5,944	3,253	50,227	17,200	12.1
平成29年度	8,143	2,237	48,699	11,961	10.6
平成30年度	8,614	1,332	47,739	9,234	10.1
令和元年度	10,616	1,240	44,487	8,226	9.8
令和2年度	10,930	1,435	44,827	9,046	9.6
令和3年度	10,771	1,445	46,078	7,915	9.6

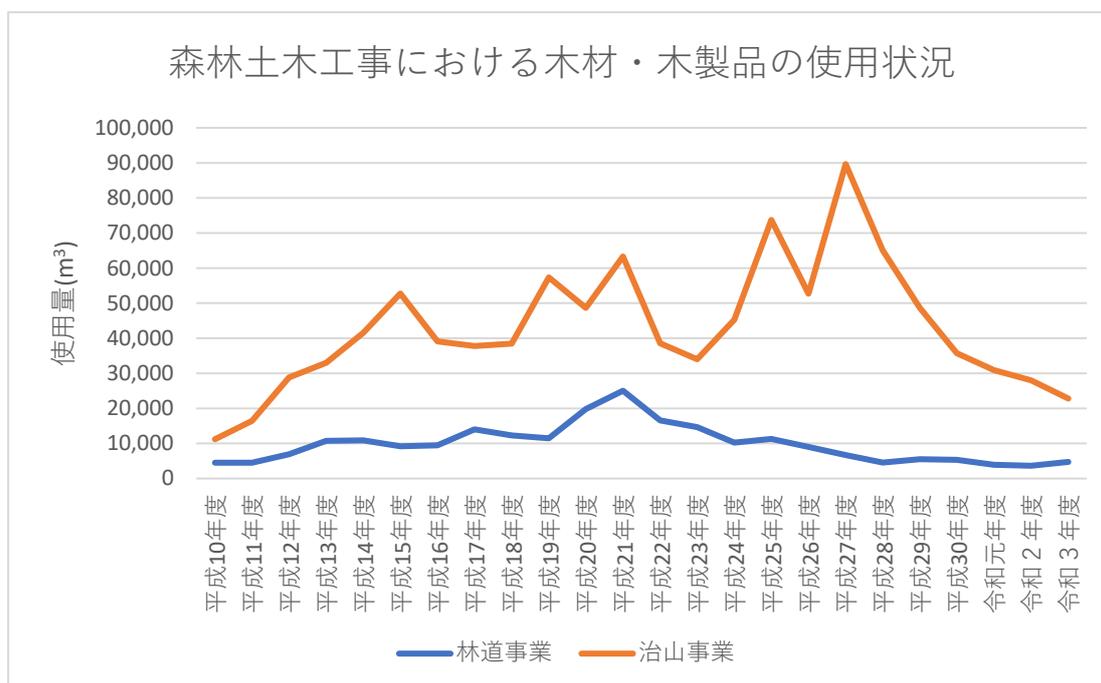
注：1 分収造林における実績を含む。

2 間伐（万ha）は森林吸収源対策の実績として把握した数値である。



森林土木工事における木材・木製品の使用状況(m<sup>3</sup>)

	林道事業	治山事業	計
平成10年度	4,510	11,201	15,711
平成11年度	4,514	16,423	20,937
平成12年度	6,930	28,790	35,720
平成13年度	10,742	33,010	43,752
平成14年度	10,883	41,559	52,441
平成15年度	9,210	52,742	61,952
平成16年度	9,472	39,110	48,582
平成17年度	14,011	37,771	51,782
平成18年度	12,271	38,438	50,709
平成19年度	11,479	57,327	68,806
平成20年度	19,818	48,652	68,470
平成21年度	25,055	63,322	88,377
平成22年度	16,543	38,528	55,071
平成23年度	14,635	33,978	48,613
平成24年度	10,234	45,280	55,514
平成25年度	11,283	73,750	85,033
平成26年度	9,013	52,725	61,738
平成27年度	6,687	89,688	96,375
平成28年度	4,555	65,076	69,631
平成29年度	5,514	48,671	54,185
平成30年度	5,322	35,741	41,063
令和元年度	3,893	30,891	34,784
令和2年度	3,641	28,005	31,646
令和3年度	4,745	22,820	27,565

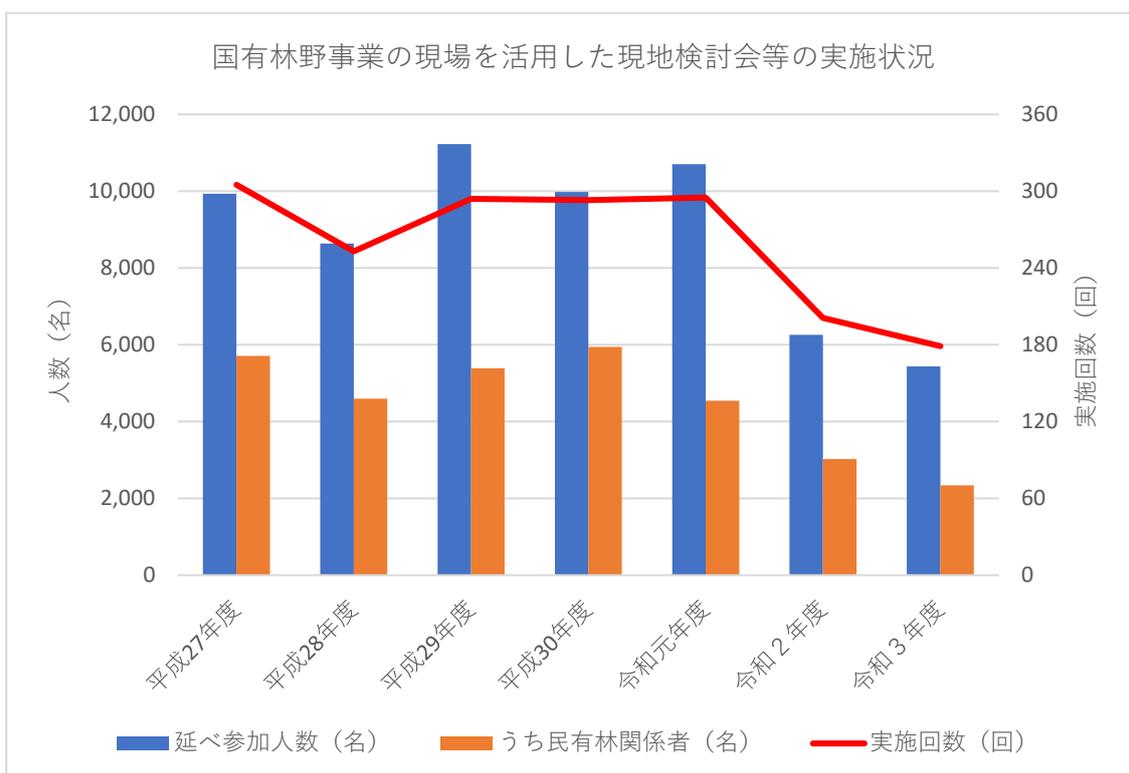


国有林野事業の現場を活用した現地検討会等の実施状況

	実施回数 (回)	延べ参加人数 (名)	うち民有林関係者 (名)
平成27年度	305	9,933	5,710
平成28年度	253	8,636	4,595
平成29年度	294	11,224	5,390
平成30年度	293	9,979	5,943
令和元年度	295	10,699	4,540
令和2年度	201	6,257	3,024
令和3年度	179	5,437	2,339

注：1 各年度に、森林管理局・署等が主催又は共催した、作業システム、低コスト造林等をテーマとした現地検討会等の実施状況。

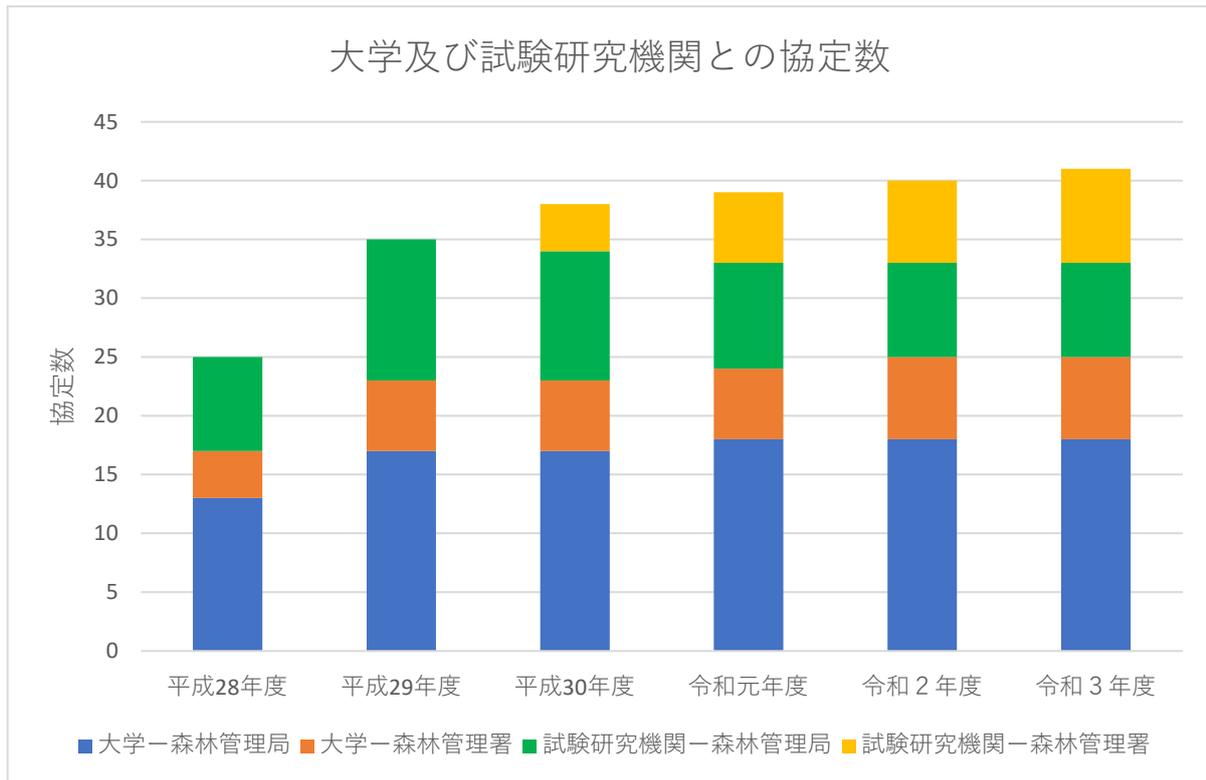
2 民有林関係者とは、森林管理局・署職員以外で、地方公共団体や林業事業体の職員等。



## 大学及び試験研究機関との協定数

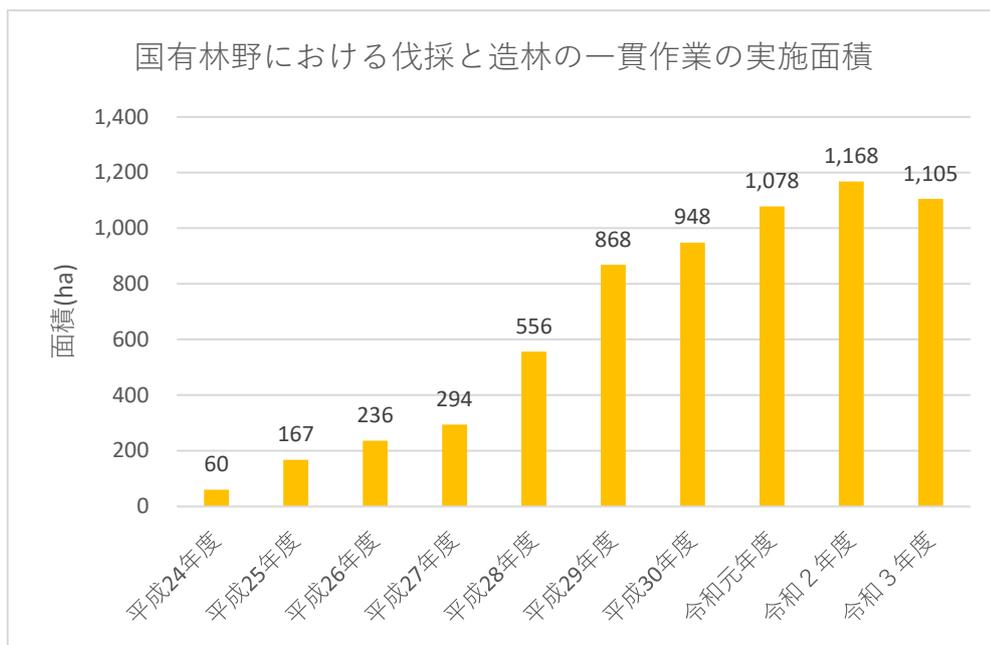
	大学一森林管理局	大学一森林管理署	試験研究機関一森林管理局	試験研究機関一森林管理署	計
平成28年度	13	4	8	0	25
平成29年度	17	6	12	0	35
平成30年度	17	6	11	4	38
令和元年度	18	6	9	6	39
令和2年度	18	7	8	7	40
令和3年度	18	7	8	8	41

注：年度末の数値である。



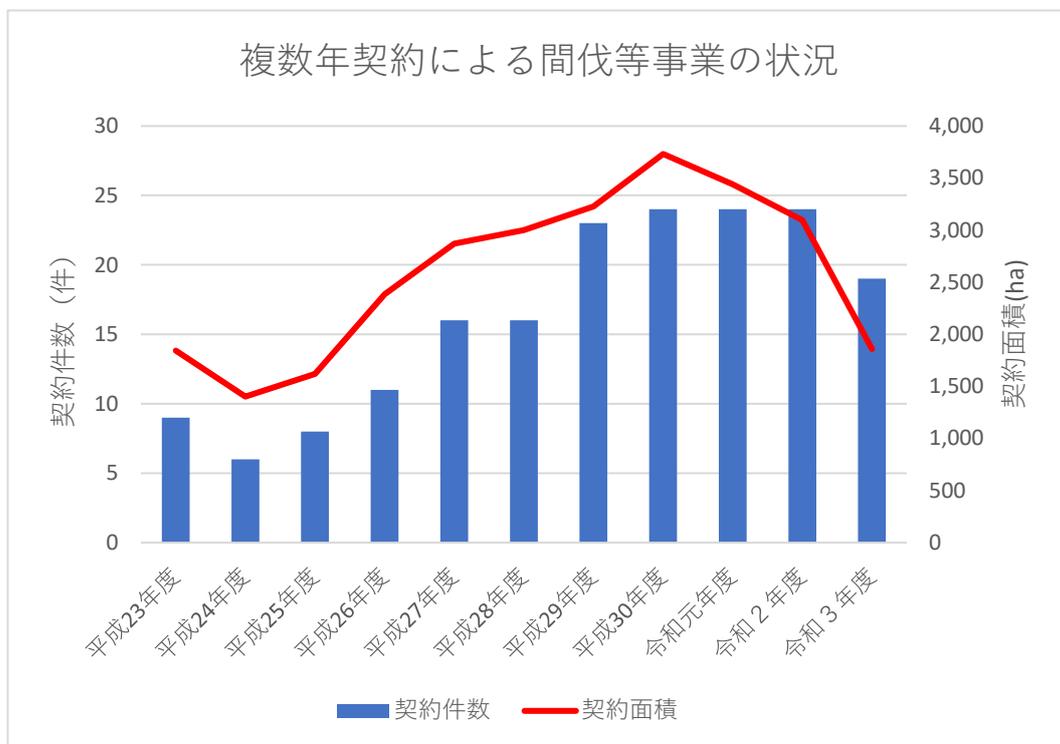
国有林野における伐採と造林の一貫作業の実施面積 (ha)

	実施面積
平成24年度	60
平成25年度	167
平成26年度	236
平成27年度	294
平成28年度	556
平成29年度	868
平成30年度	948
令和元年度	1,078
令和2年度	1,168
令和3年度	1,105



複数年契約による間伐等事業の状況

	契約件数	期間	契約面積 (ha)	集材材積 (千m <sup>3</sup> )	植栽面積 (ha)
平成23年度	9	3 か年	1,843	75	
平成24年度	6	3 か年	1,403	51	
平成25年度	8	3 か年	1,620	78	
平成26年度	11	3 か年	2,384	111	
平成27年度	16	3 か年	2,869	140	22
平成28年度	16	3 か年	3,000	157	28
平成29年度	23	2 か年又は3 か年	3,227	170	50
平成30年度	24	2 か年又は3 か年	3,731	189	61
令和元年度	24	2 か年又は3 か年	3,440	195	218
令和2年度	24	2 か年又は3 か年	3,096	187	3
令和3年度	19	2 か年又は3 か年	1,858	142	49

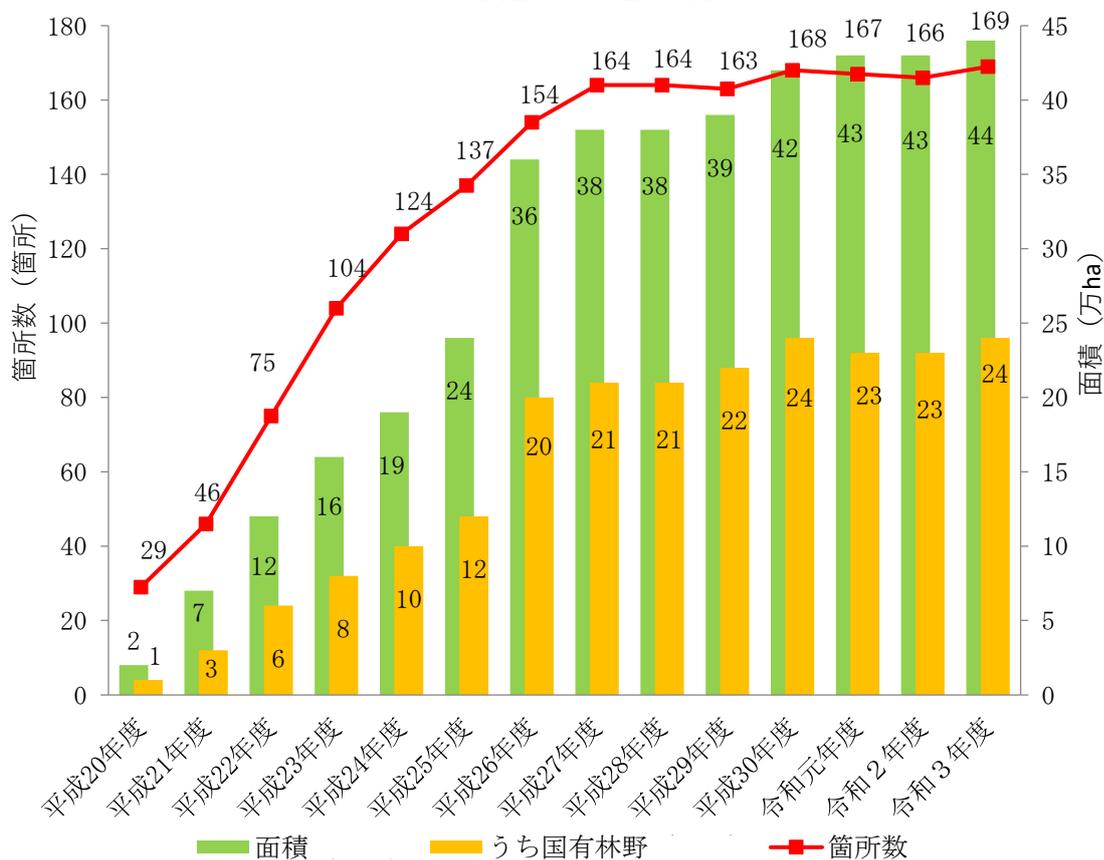


森林共同施業団地の現況

	箇所数	面積 (万ha)	うち国有林野 (万ha)
平成20年度	29	2	1
平成21年度	46	7	3
平成22年度	75	12	6
平成23年度	104	16	8
平成24年度	124	19	10
平成25年度	137	24	12
平成26年度	154	36	20
平成27年度	164	38	21
平成28年度	164	38	21
平成29年度	163	39	22
平成30年度	168	42	24
令和元年度	167	43	23
令和2年度	166	43	23
令和3年度	169	44	24

注：年度末の数値であり、事業が終了したものは含まない。

森林共同施業団地の現況



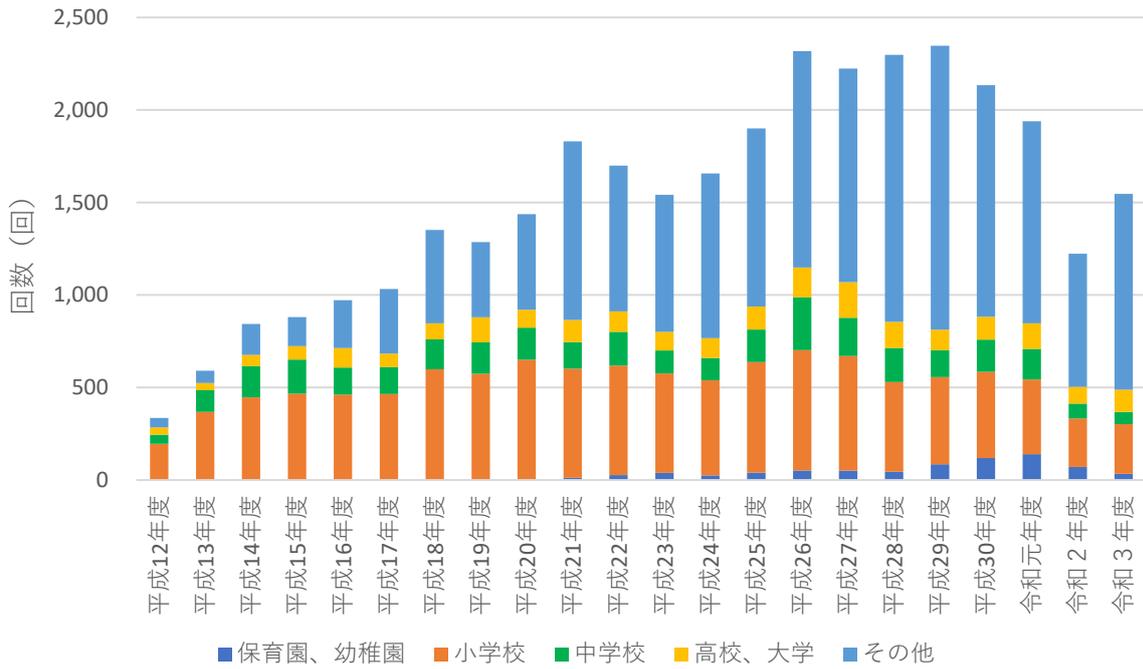
教育関係機関等との連携による森林環境教育の取組状況

	保育園、幼稚園		小学校		中学校	
	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)
平成12年度			195	10,848	49	2,100
平成13年度			368	18,178	117	4,453
平成14年度			446	22,964	169	8,237
平成15年度			466	25,256	185	7,629
平成16年度			461	23,997	147	6,166
平成17年度			464	29,753	146	7,229
平成18年度			598	30,658	162	7,456
平成19年度			574	36,548	170	9,178
平成20年度			650	33,758	173	8,833
平成21年度	11	1,955	591	48,020	144	12,195
平成22年度	26	2,910	592	48,556	183	15,395
平成23年度	38	3,318	538	61,321	124	7,649
平成24年度	24	3,095	515	68,526	120	9,352
平成25年度	39	4,366	598	61,487	176	6,969
平成26年度	51	5,051	651	55,138	285	9,777
平成27年度	50	4,854	620	51,540	207	9,836
平成28年度	44	3,945	485	48,007	185	8,339
平成29年度	85	3,803	471	44,060	146	8,560
平成30年度	118	4,332	466	45,024	175	9,361
令和元年度	139	3,708	404	28,080	166	7,903
令和2年度	70	1,940	262	12,206	81	3,243
令和3年度	33	1,925	268	18,941	67	4,101

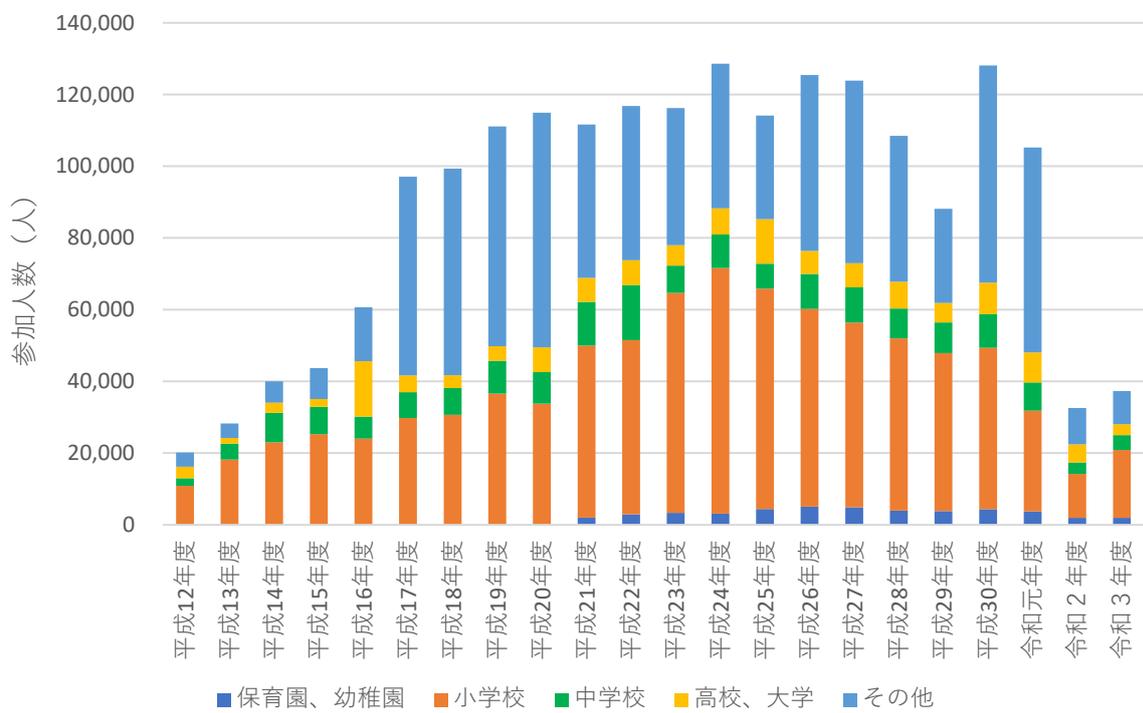
	高校、大学		その他		計	
	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)
平成12年度	40	3,205	51	3,965	335	20,118
平成13年度	39	1,555	66	4,057	590	28,243
平成14年度	61	2,810	167	5,964	843	39,975
平成15年度	72	2,151	157	8,635	880	43,671
平成16年度	105	15,423	259	15,067	972	60,653
平成17年度	73	4,672	349	55,401	1,032	97,055
平成18年度	87	3,568	504	57,678	1,351	99,360
平成19年度	135	4,081	407	61,277	1,286	111,084
平成20年度	97	6,869	517	65,466	1,437	114,926
平成21年度	119	6,653	965	42,791	1,830	111,614
平成22年度	110	6,911	788	43,028	1,699	116,800
平成23年度	100	5,665	741	38,270	1,541	116,223
平成24年度	107	7,295	891	40,320	1,657	128,588
平成25年度	124	12,414	963	28,903	1,668	114,139
平成26年度	162	6,421	1,169	49,049	2,318	125,436
平成27年度	192	6,691	1,155	50,947	1,813	123,868
平成28年度	140	7,500	1,444	40,668	2,033	108,459
平成29年度	110	5,432	1,535	26,257	2,060	88,112
平成30年度	123	8,776	1,252	60,620	1,796	128,113
令和元年度	138	8,347	1,092	57,178	1,939	105,216
令和2年度	90	4,997	720	10,183	1,223	32,569
令和3年度	120	3,043	1,058	9,248	1,546	37,258

複数の機関と連携して実施している場合は、1回の取組で複数の連携機関の回数に含まれているため、各回数の合計と計は一致しない。

### 教育関係機関等との連携による森林環境教育の取組状況



### 教育関係機関等との連携による森林環境教育の取組状況

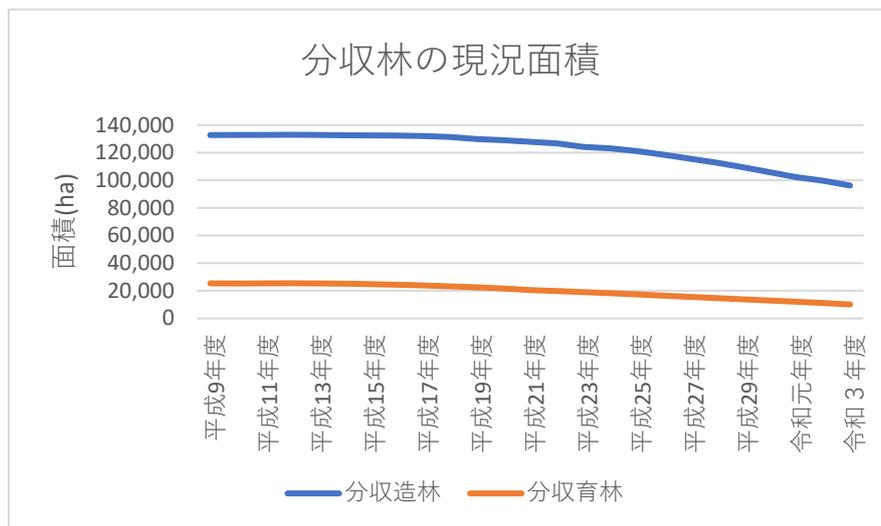


### 分収林の現況面積

	分収造林			分収育林		
	面積 (ha)	うち法人の森林面積 (ha)	法人の森林箇所数	面積 (ha)	うち法人の森林面積 (ha)	法人の森林箇所数
平成9年度	132,657	-	-	25,345	-	-
平成10年度	132,797	-	-	25,266	-	-
平成11年度	132,811	-	-	25,359	-	-
平成12年度	132,967	-	-	25,366	-	-
平成13年度	132,831	-	-	25,274	-	-
平成14年度	132,549	-	-	25,160	-	-
平成15年度	132,412	-	-	24,918	-	-
平成16年度	132,362	680	239	24,451	1,184	160
平成17年度	131,967	719	248	23,837	1,225	172
平成18年度	131,295	746	260	23,086	1,378	183
平成19年度	129,797	760	267	22,442	1,418	190
平成20年度	128,989	830	281	21,632	1,428	194
平成21年度	127,816	877	292	20,462	1,403	194
平成22年度	126,739	916	302	19,735	1,403	194
平成23年度	124,201	925	305	18,839	1,391	194
平成24年度	123,125	925	305	18,243	1,357	185
平成25年度	121,164	966	307	17,355	1,351	183
平成26年度	118,540	988	310	16,548	1,347	183
平成27年度	115,539	990	311	15,545	1,347	183
平成28年度	112,762	1,012	313	14,688	1,343	181
平成29年度	109,323	1,008	311	13,736	1,342	181
平成30年度	105,716	1,006	292	12,842	1,333	179
令和元年度	102,234	1,011	295	12,002	1,328	177
令和2年度	99,691	1,013	296	11,114	1,321	175
令和3年度	96,280	1,013	296	10,081	1,317	168

注：1 年度末の数値である。

2 箇所数について、令和2年度までは、同一箇所で複数の契約がある場合、契約数を箇所数としてカウントしていたが、令和3年度からは、1箇所としてカウントしている。

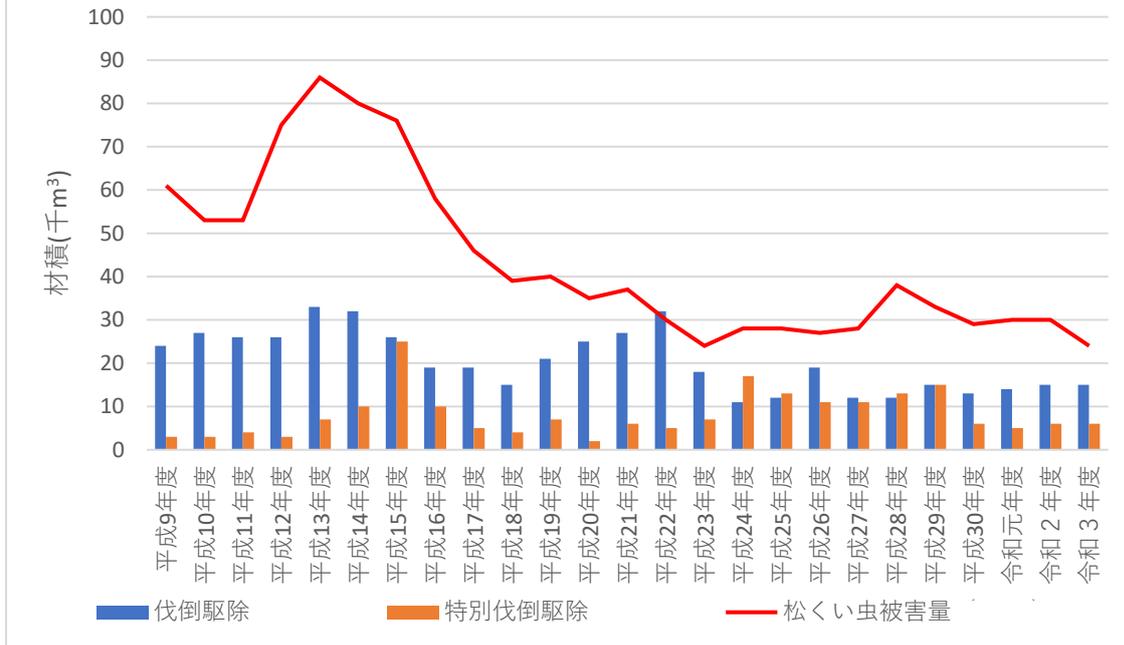


松くい虫被害の状況と対策

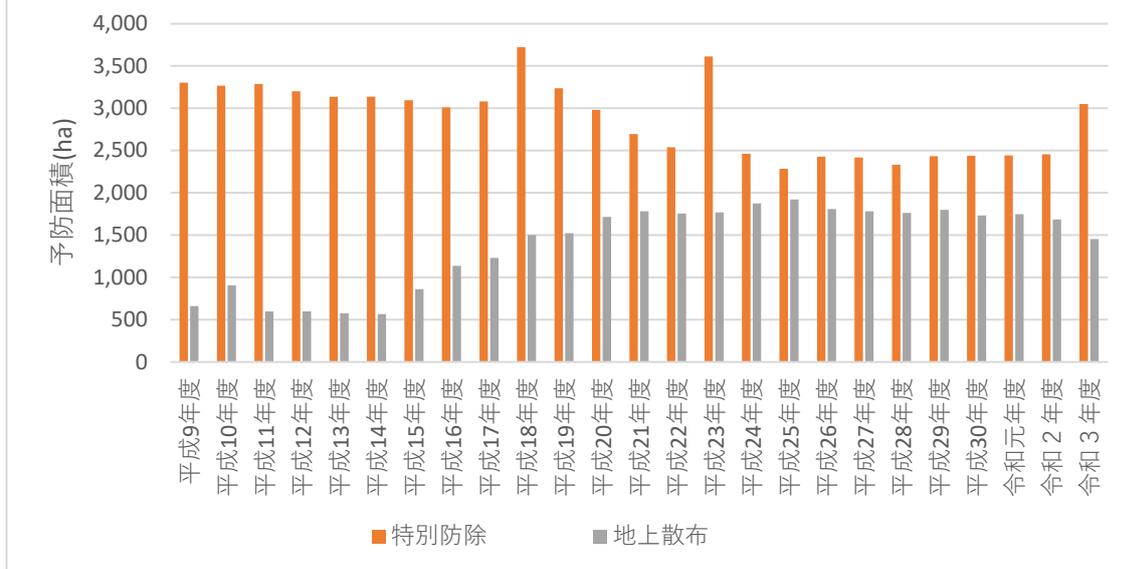
	松くい虫被害量 (千m <sup>3</sup> )	予防		駆除	
		特別防除 (ha)	地上散布 (ha)	伐倒駆除 (千m <sup>3</sup> )	特別伐倒駆除 (千m <sup>3</sup> )
平成9年度	61	3,302	660	24	3
平成10年度	53	3,267	905	27	3
平成11年度	53	3,286	599	26	4
平成12年度	75	3,200	599	26	3
平成13年度	86	3,134	575	33	7
平成14年度	80	3,136	567	32	10
平成15年度	76	3,095	861	26	25
平成16年度	58	3,010	1,135	19	10
平成17年度	46	3,079	1,231	19	5
平成18年度	39	3,721	1,501	15	4
平成19年度	40	3,236	1,522	21	7
平成20年度	35	2,979	1,716	25	2
平成21年度	37	2,694	1,781	27	6
平成22年度	30	2,538	1,754	32	5
平成23年度	24	3,611	1,768	18	7
平成24年度	28	2,460	1,874	11	17
平成25年度	28	2,284	1,920	12	13
平成26年度	27	2,427	1,807	19	11
平成27年度	28	2,418	1,781	12	11
平成28年度	38	2,332	1,763	12	13
平成29年度	33	2,432	1,798	15	15
平成30年度	29	2,438	1,732	13	6
令和元年度	30	2,442	1,747	14	5
令和2年度	30	2,455	1,685	15	6
令和3年度	24	3,050	1,453	15	6

- 注：1 特別防除とは、空からヘリコプターを利用して薬剤を健康なマツに散布し、カミキリを駆除すること。  
 2 地上散布とは、地上から動力噴霧機等を利用して薬剤を健康なマツに散布し、カミキリを駆除すること。  
 3 伐倒駆除とは、被害木を伐り倒し、薬剤散布又はくん蒸処理等をして、カミキリの幼虫を駆除すること。  
 4 特別伐倒駆除とは、被害木を伐り倒して、破砕又は焼却し、カミキリの幼虫を駆除すること。  
 5 予防対策と駆除対策を合わせて防除という。

### 松くい虫被害の状況と対策



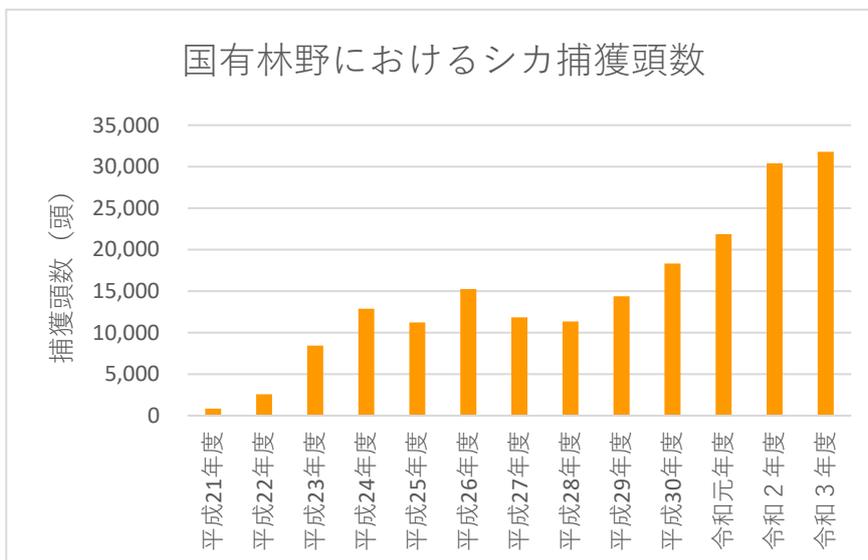
### 松くい虫被害の状況と対策



国有林野におけるシカ捕獲頭数（頭）

	捕獲頭数
平成21年度	836
平成22年度	2,576
平成23年度	8,433
平成24年度	12,873
平成25年度	11,230
平成26年度	15,245
平成27年度	11,830
平成28年度	11,329
平成29年度	14,385
平成30年度	18,321
令和元年度	21,867
令和2年度	30,395
令和3年度	31,787

注：国有林野における有害鳥獣捕獲等（一般ハンターによる狩猟は含まない。）による捕獲頭数の合計（各年度末現在の値）。



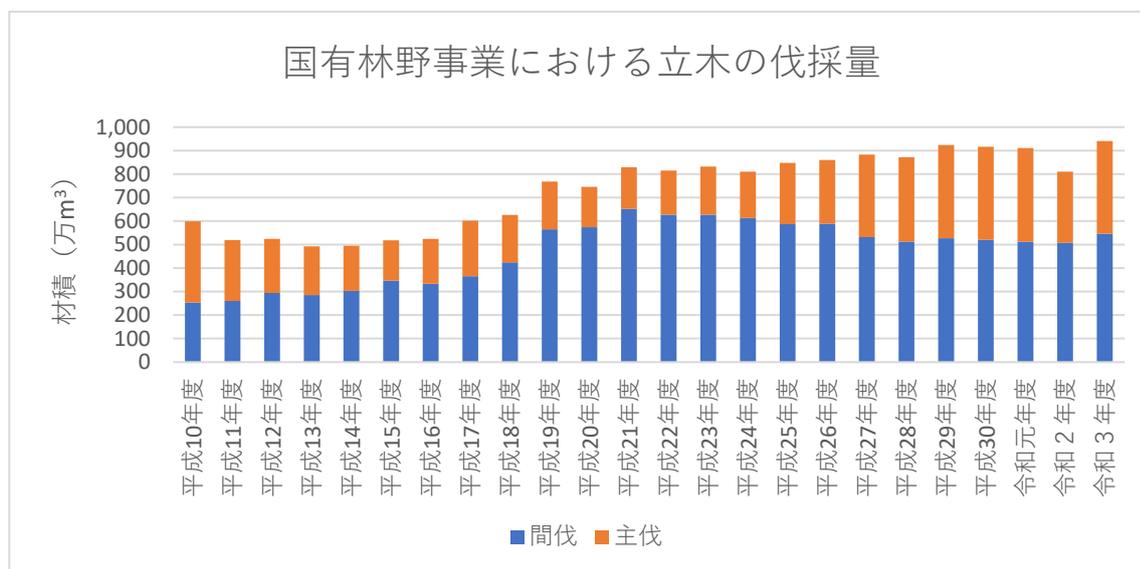
国有林野事業における立木の伐採量(万 $m^3$ )

	間伐	主伐	計
平成10年度	253	346	599
平成11年度	260	259	520
平成12年度	294	230	524
平成13年度	285	207	492
平成14年度	303	192	495
平成15年度	346	172	517
平成16年度	333	191	524
平成17年度	365	237	603
平成18年度	424	202	626
平成19年度	565	203	768
平成20年度	574	172	745
平成21年度	652	177	828
平成22年度	627	188	815
平成23年度	627	205	832
平成24年度	613	197	810
平成25年度	587	261	848
平成26年度	589	271	861
平成27年度	532	351	883
平成28年度	513	359	872
平成29年度	527	397	925
平成30年度	520	396	916
令和元年度	512	399	911
令和2年度	507	303	809
令和3年度	546	395	942

注：1 伐採量は、国有林内で伐採等をした立木の材積（林地残材等を含む）である。

2 計の不一致は四捨五入によるもの。

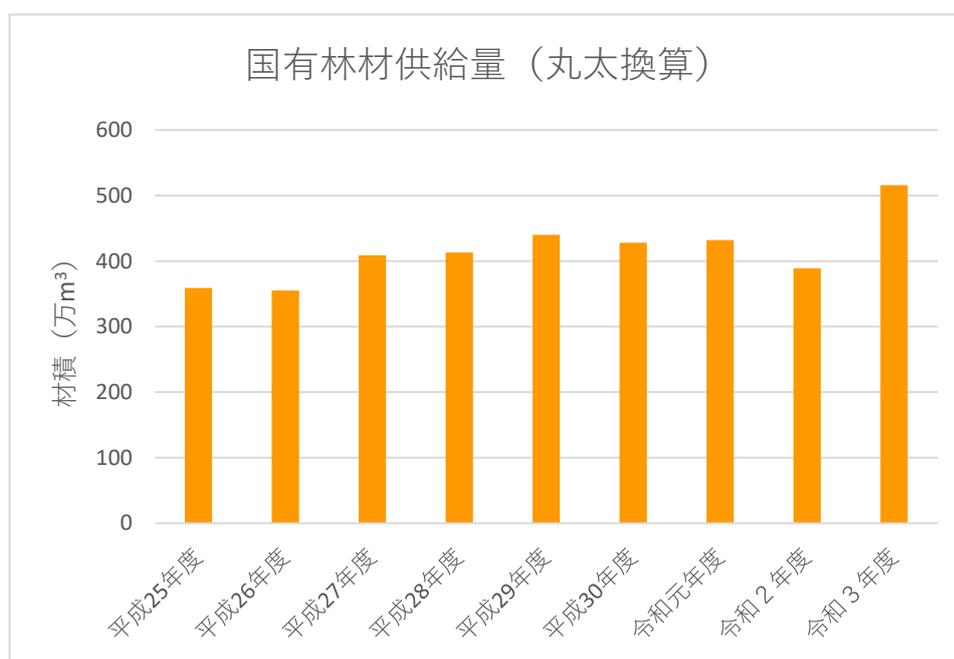
3 平成25年度までの「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」においては、官行造林を含んでいないため、この表に記載されている値とは一致しない。



国有林材供給量（丸太換算）（万m<sup>3</sup>）

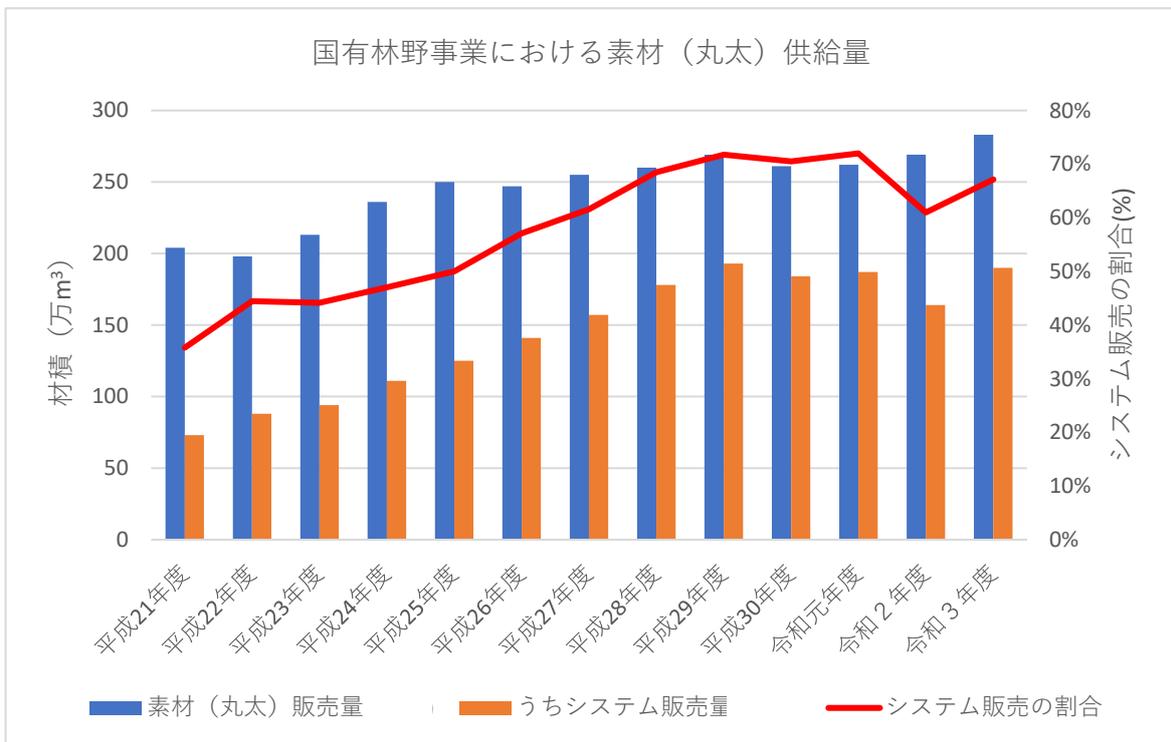
	材積
平成25年度	359
平成26年度	355
平成27年度	409
平成28年度	413
平成29年度	440
平成30年度	428
令和元年度	432
令和2年度	389
令和3年度	516

注：国有林材供給量は立木販売量を素材（丸太）換算した推計量を含む。



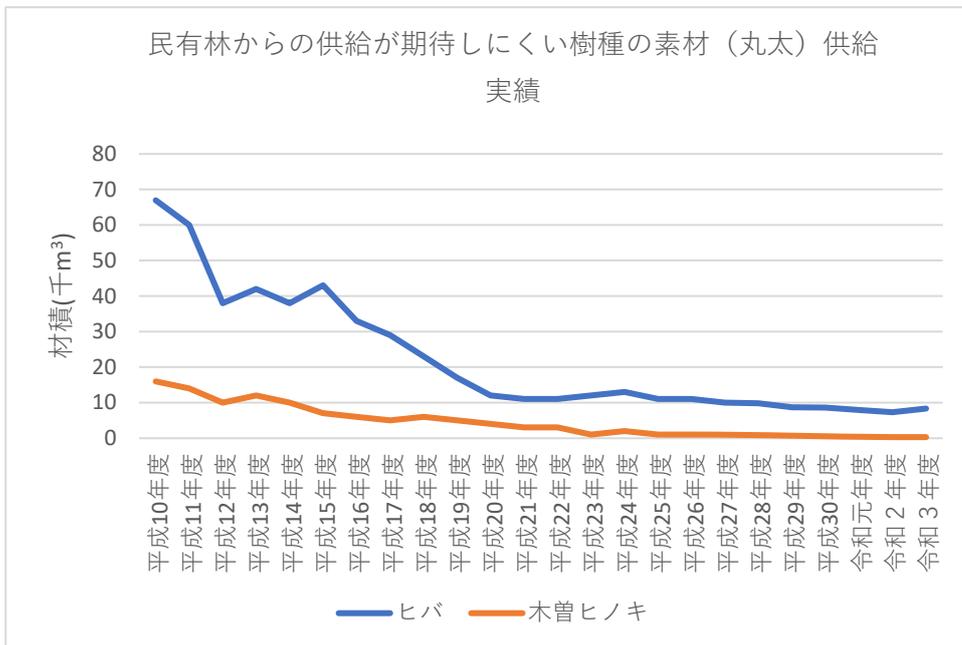
国有林野事業における素材（丸太）供給量

	素材（丸太）販売量(万m <sup>3</sup> )	うちシステム販売量(万m <sup>3</sup> )	システム販売の割合
平成21年度	204	73	36%
平成22年度	198	88	44%
平成23年度	213	94	44%
平成24年度	236	111	47%
平成25年度	250	125	50%
平成26年度	247	141	57%
平成27年度	255	157	62%
平成28年度	260	178	68%
平成29年度	269	193	72%
平成30年度	261	184	70%
令和元年度	262	187	72%
令和2年度	269	164	61%
令和3年度	283	190	67%



民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材（丸太）供給実績(千m<sup>3</sup>)

	ヒバ	木曽ヒノキ
平成10年度	67	16
平成11年度	60	14
平成12年度	38	10
平成13年度	42	12
平成14年度	38	10
平成15年度	43	7
平成16年度	33	6
平成17年度	29	5
平成18年度	23	6
平成19年度	17	5
平成20年度	12	4
平成21年度	11	3
平成22年度	11	3
平成23年度	12	1
平成24年度	13	2
平成25年度	11	1
平成26年度	11	1
平成27年度	10	1
平成28年度	9.8	0.8
平成29年度	8.7	0.7
平成30年度	8.6	0.5
令和元年度	7.9	0.4
令和2年度	7.3	0.3
令和3年度	8.3	0.3

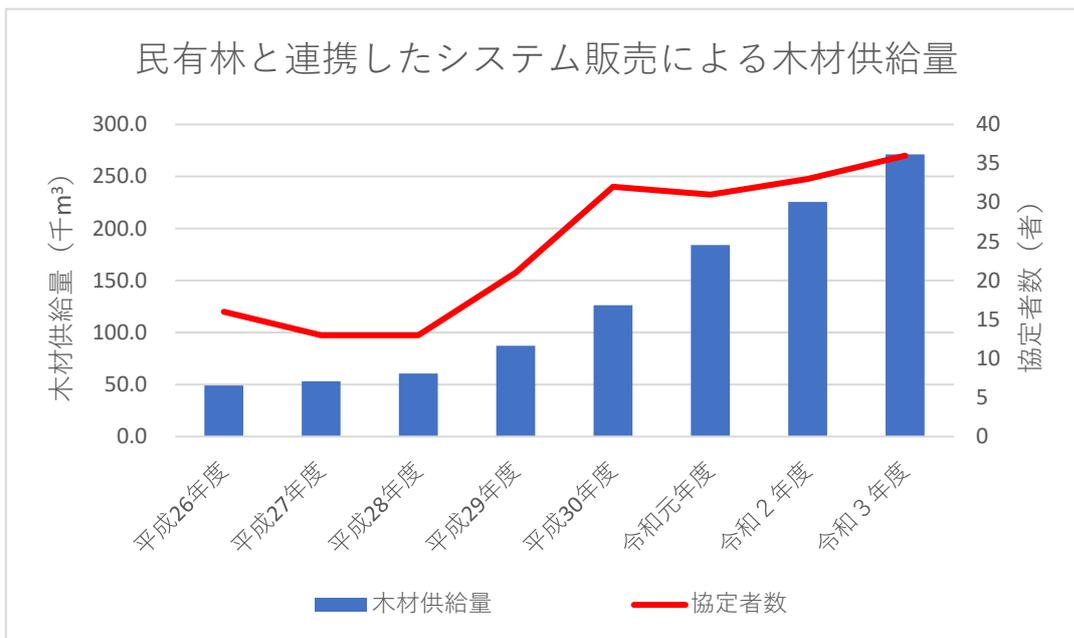


民有林と連携したシステム販売による木材供給量

	協定者数 (者)	木材供給量 (千m <sup>3</sup> )		うち民有林材 (千m <sup>3</sup> )		うち国有林材 (千m <sup>3</sup> )	
			うち立木販売		うち立木販売		うち立木販売
平成26年度	16	49.0	0.0	10.3	0.0	38.7	0.0
平成27年度	13	53.1	6.3	13.4	1.0	39.7	5.3
平成28年度	13	60.6	2.0	16.4	0.7	44.2	1.4
平成29年度	21	87.3	3.2	17.3	1.7	70.0	1.4
平成30年度	32	126.3	4.1	23.0	2.0	103.3	2.0
令和元年度	31	184.1	5.9	22.3	2.5	161.8	3.4
令和2年度	33	225.5	0.0	16.3	0.0	209.1	0.0
令和3年度	36	271.1	0.0	23.3	0.0	247.8	0.0

注：計の不一致は四捨五入によるもの。

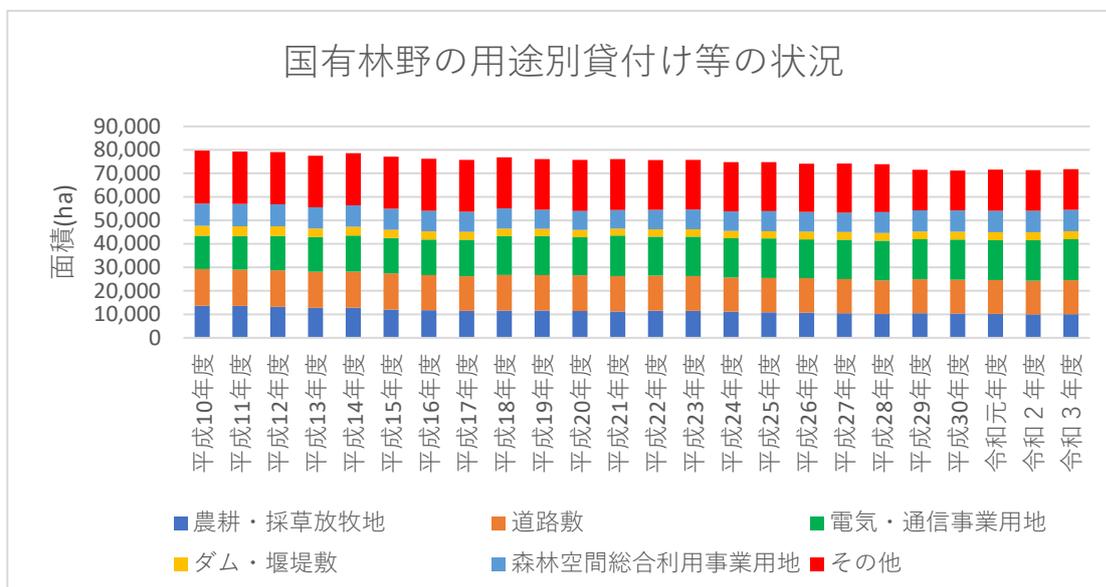
立木販売量は素材(丸太)換算した推計量。



国有林野の用途別貸付け等の状況 (ha)

	農耕・採草放牧地	道路敷	電気・通信事業用地	ダム・堰堤敷	森林空間総合利用事業用地	その他	計
平成10年度	13,644	15,602	14,251	4,207	9,432	22,546	79,681
平成11年度	13,600	15,394	14,332	4,119	9,530	22,289	79,265
平成12年度	13,202	15,551	14,553	4,152	9,393	22,231	79,082
平成13年度	12,768	15,321	14,840	3,596	9,006	21,937	77,468
平成14年度	12,814	15,376	15,333	3,740	9,098	22,233	78,593
平成15年度	11,998	15,471	15,054	3,484	8,930	22,156	77,094
平成16年度	11,715	14,996	15,109	3,456	8,801	22,111	76,189
平成17年度	11,465	14,721	15,588	3,305	8,601	22,034	75,713
平成18年度	11,627	15,125	16,545	3,186	8,567	21,770	76,819
平成19年度	11,609	15,081	16,657	3,071	8,129	21,508	76,056
平成20年度	11,402	15,219	16,261	3,009	8,072	21,785	75,749
平成21年度	11,221	15,056	17,258	2,951	7,882	21,664	76,033
平成22年度	11,574	14,931	16,518	3,156	8,257	21,219	75,655
平成23年度	11,502	14,777	16,775	3,143	8,386	21,161	75,744
平成24年度	11,103	14,569	16,705	3,115	8,285	20,993	74,770
平成25年度	10,867	14,574	16,851	3,094	8,540	20,831	74,758
平成26年度	10,722	14,653	16,522	3,248	8,431	20,526	74,104
平成27年度	10,489	14,478	16,778	3,282	8,189	20,929	74,145
平成28年度	10,089	14,383	16,895	3,277	8,879	20,345	73,868
平成29年度	10,469	14,422	17,059	3,308	8,981	17,295	71,533
平成30年度	10,288	14,397	17,174	3,314	9,015	16,988	71,175
令和元年度	10,204	14,354	17,020	3,405	9,058	17,523	71,564
令和2年度	10,013	14,271	17,296	3,393	9,062	17,349	71,382
令和3年度	10,022	14,525	17,406	3,441	9,089	17,286	71,768

- 注：1 面積は、年度末の数値である。  
 2 貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。  
 3 計の不一致は、四捨五入による。

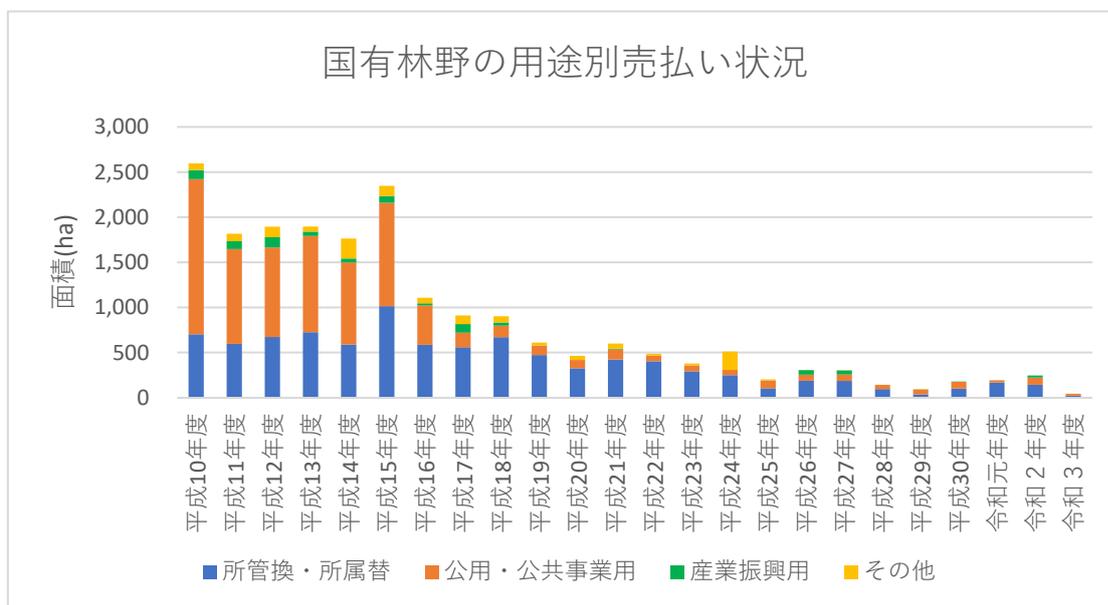


国有林野の用途別売払い状況 (ha)

	所管換・所属替	公用・公共事業用	産業振興用	その他	計
平成10年度	702	1,719	101	75	2,597
平成11年度	597	1,049	87	84	1,817
平成12年度	673	992	113	116	1,894
平成13年度	725	1,067	48	57	1,898
平成14年度	589	909	44	221	1,763
平成15年度	1,013	1,147	74	113	2,347
平成16年度	586	437	23	62	1,108
平成17年度	560	161	94	96	911
平成18年度	671	127	36	69	903
平成19年度	472	106	0	33	611
平成20年度	325	93	0	46	464
平成21年度	423	111	8	57	599
平成22年度	403	65	0	19	487
平成23年度	293	64	0	21	378
平成24年度	249	59	0	203	512
平成25年度	105	86	0	12	203
平成26年度	187	68	52	1	309
平成27年度	186	71	46	4	308
平成28年度	95	46	0	3	144
平成29年度	38	52	3	2	95
平成30年度	101	75	3	0	178
令和元年度	169	24	0	2	194
令和2年度	144	80	22	0	246
令和3年度	23	19	0	3	45

注：1 売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。

2 計の不一致は、四捨五入による。



レクリエーションの森の現況及び利用者数

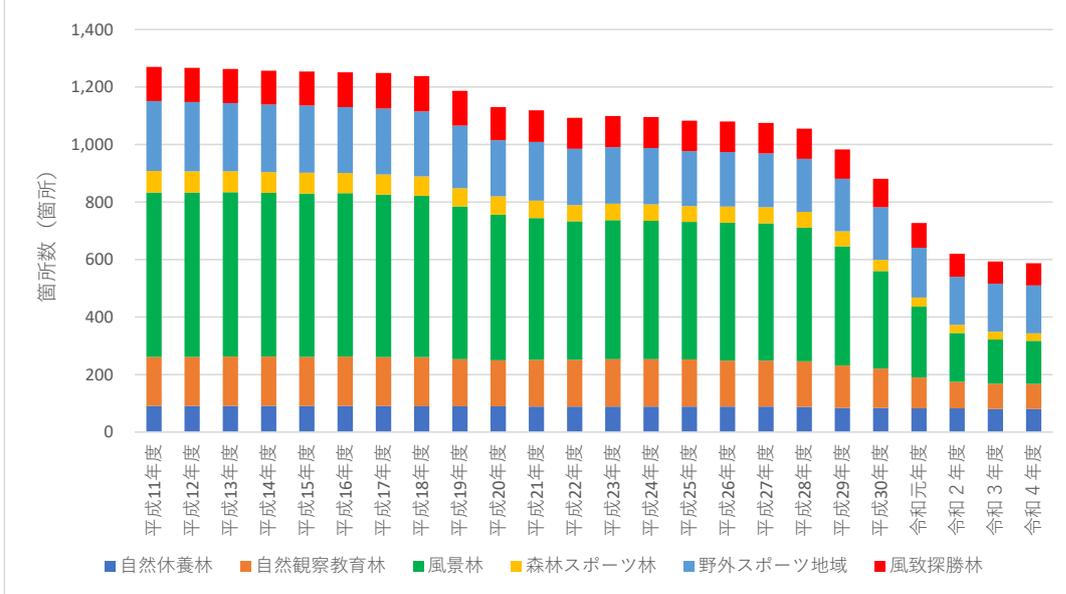
	自然休養林			自然観察教育林			風景林			森林スポーツ林		
	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)
平成10年度	-	-	29	-	-	18	-	-	42	-	-	2
平成11年度	91	105	28	171	35	19	571	183	47	75	10	2
平成12年度	91	105	27	171	35	19	571	186	48	74	10	2
平成13年度	91	104	27	172	35	19	571	187	48	73	10	1
平成14年度	91	104	28	172	35	19	569	186	48	72	10	2
平成15年度	91	105	29	171	35	18	568	186	47	72	10	1
平成16年度	91	105	28	172	35	18	568	186	46	70	10	1
平成17年度	91	104	27	170	35	17	565	183	42	70	10	1
平成18年度	90	104	27	171	33	16	561	184	45	67	9	1
平成19年度	90	105	32	164	31	16	531	181	32	63	7	1
平成20年度	90	105	31	160	32	16	506	179	31	64	8	1
平成21年度	89	104	29	163	31	14	492	180	28	61	8	1
平成22年度	89	104	29	163	31	13	481	179	27	56	8	1
平成23年度	89	104	26	165	32	11	483	179	49	57	8	1
平成24年度	89	104	24	165	32	9	481	179	46	57	8	1
平成25年度	89	104	18	164	31	8	478	179	65	55	7	1
平成26年度	89	104	18	160	31	7	479	178	64	56	8	1
平成27年度	89	104	12	160	31	7	477	178	61	56	7	1
平成28年度	88	103	10	159	31	6	464	176	73	55	7	1
平成29年度	84	98	11	148	30	16	414	170	83	52	7	3
平成30年度	84	97	11	137	30	16	399	133	84	39	5	3
令和元年度	83	96	11	107	26	14	246	103	74	32	3	3
令和2年度	83	95	12	92	24	6	170	87	60	28	3	3
令和3年度	81	95	14	88	22	9	153	84	70	27	3	2
令和4年度	81	95	-	87	22	-	150	82	-	26	3	-

	野外スポーツ地域			風致探勝林			計		
	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)
平成10年度	-	-	49	-	-	19	-	-	159
平成11年度	243	53	45	119	21	21	1,270	409	162
平成12年度	241	53	40	119	21	21	1,267	410	157
平成13年度	237	53	39	119	21	22	1,263	411	156
平成14年度	235	53	37	118	21	22	1,257	410	156
平成15年度	234	52	35	118	21	22	1,254	409	152
平成16年度	229	52	32	121	22	21	1,251	410	147
平成17年度	229	50	34	124	22	21	1,249	405	143
平成18年度	226	51	32	123	22	18	1,238	404	139
平成19年度	218	52	34	121	22	16	1,187	398	131
平成20年度	195	48	30	115	22	16	1,130	394	123
平成21年度	204	49	24	110	21	14	1,119	392	110
平成22年度	196	48	32	108	20	13	1,093	390	116
平成23年度	197	46	29	108	20	12	1,099	388	127
平成24年度	196	46	27	108	20	9	1,096	388	117
平成25年度	191	46	25	106	20	10	1,083	388	127
平成26年度	190	46	26	106	20	9	1,080	387	124
平成27年度	187	45	23	106	20	6	1,075	385	110
平成28年度	184	45	23	105	20	8	1,055	383	122
平成29年度	183	45	18	102	21	8	983	371	140
平成30年度	183	51	15	99	19	8	881	336	137
令和元年度	173	50	17	86	15	8	727	292	127
令和2年度	167	50	18	80	14	7	620	273	106
令和3年度	167	49	13	77	13	8	593	267	116
令和4年度	166	49	-	77	13	-	587	264	-

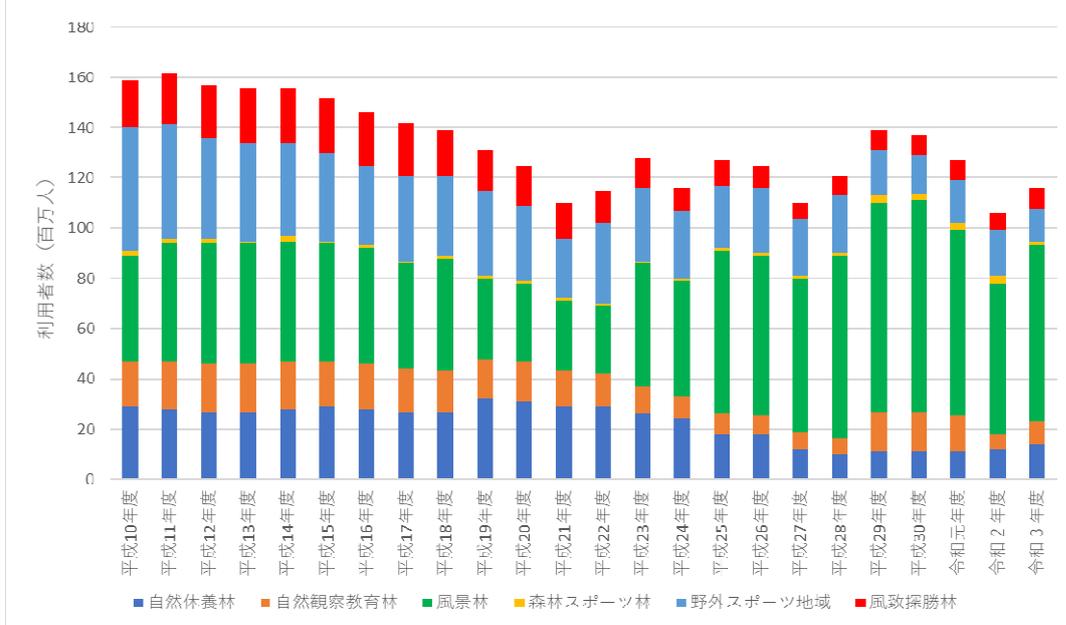
注：1 箇所数及び面積は各年4月1日現在の数値であり、利用者数は各年度の参考値である。

2 計の不一致は、四捨五入による。

レクリエーションの森の箇所数



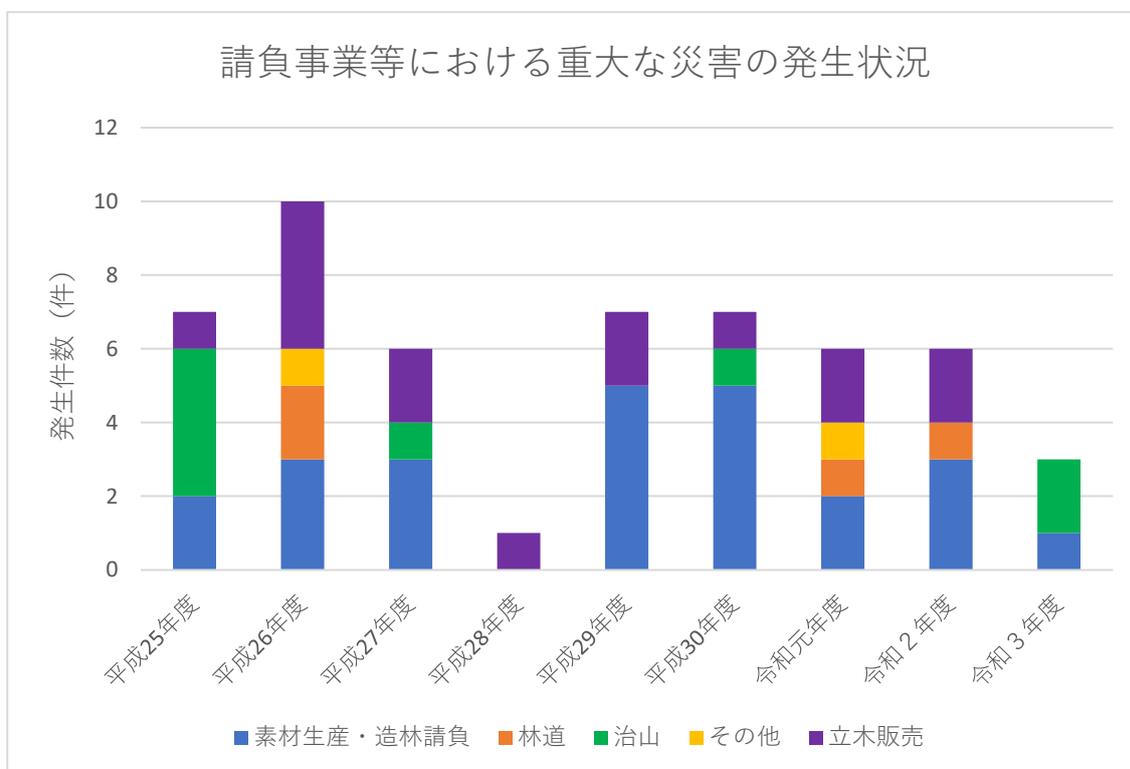
レクリエーションの森の利用者数



請負事業等における重大な災害の発生状況

	請負事業				立木販売	合計
	素材生産・造林請負	林道	治山	その他		
平成25年度	2	0	4	0	1	7
平成26年度	3	2	0	1	4	10
平成27年度	3	0	1	0	2	6
平成28年度	0	0	0	0	1	1
平成29年度	5	0	0	0	2	7
平成30年度	5	0	1	0	1	7
令和元年度	2	1	0	1	2	6
令和2年度	3	1	0	0	2	6
令和3年度	1	0	2	0	0	3

注：重大な災害は、①死亡災害、②労働者災害補償保険法施行規則別表第1の障害等級表の等級区分中、第1級から第3級までに該当すると思われる災害、③同一災害で3名以上の被災者を出した災害、④第三者を死傷させた事故、⑤その他特に異例な事故又は災害である。

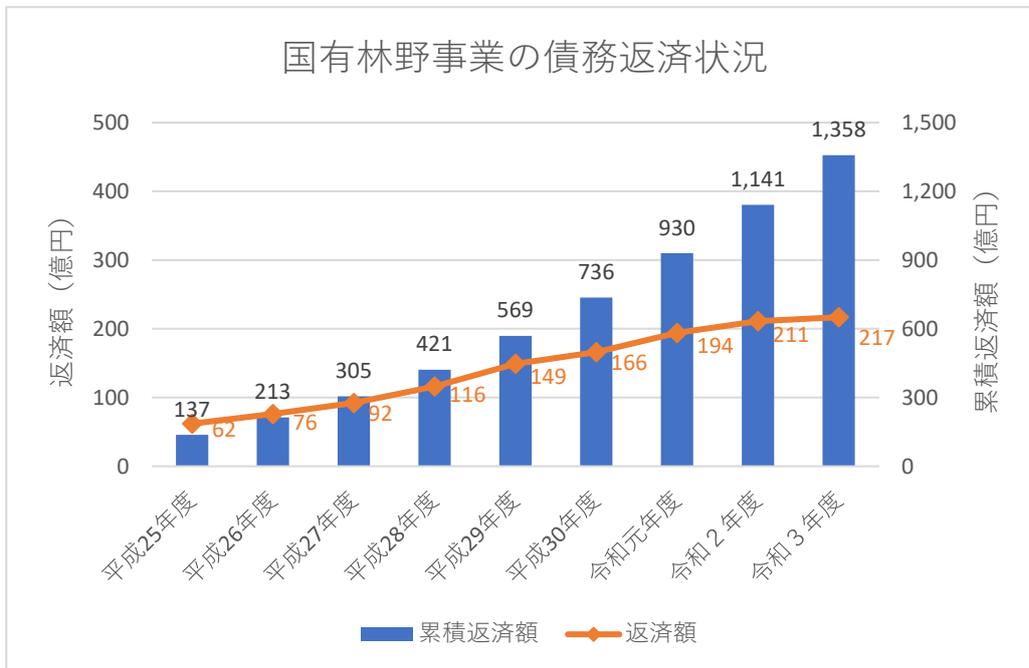


国有林野事業の債務返済状況(億円)

	返済額	累積返済額
平成25年度	62	137
平成26年度	76	213
平成27年度	92	305
平成28年度	116	421
平成29年度	149	569
平成30年度	166	736
令和元年度	194	930
令和2年度	211	1,141
令和3年度	217	1,358

注：1 累積返済額には、平成24年度までの返済額74億円を含む。

2 金額は四捨五入した数値である。



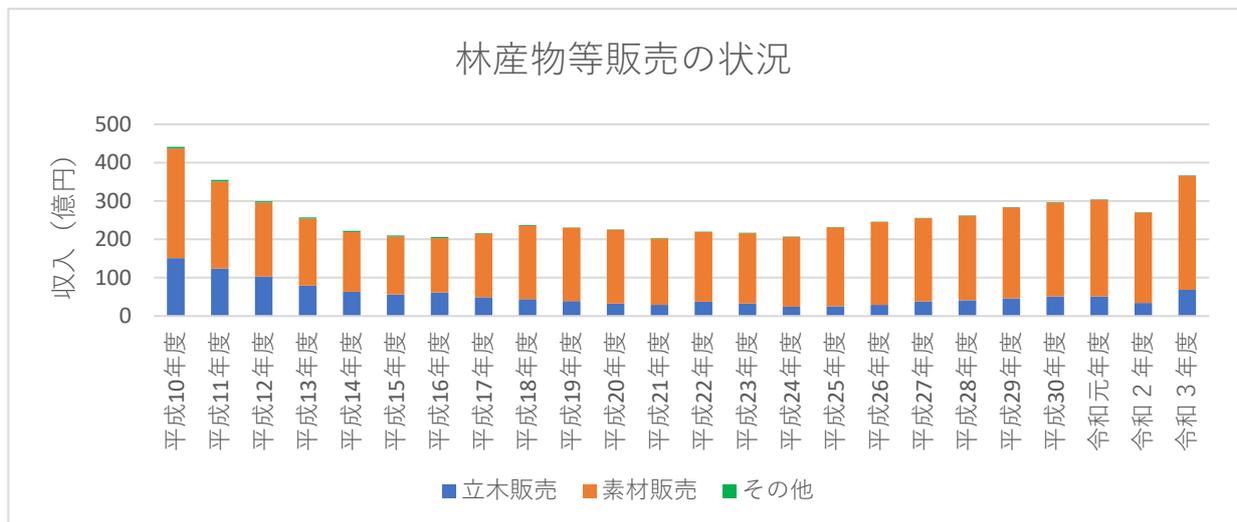
## 林産物等販売の状況

	林産物等収入		立木販売		素材販売		その他
	金額（億円）	数量(万m <sup>3</sup> )	金額（億円）	数量(万m <sup>3</sup> )	金額（億円）	金額（億円）	
平成10年度	441	383	151	98	286	4	
平成11年度	355	338	124	69	227	4	
平成12年度	299	327	103	57	193	3	
平成13年度	256	307	79	48	175	3	
平成14年度	222	278	63	59	156	3	
平成15年度	211	265	56	67	151	3	
平成16年度	206	299	61	74	142	3	
平成17年度	215	305	49	122	165	2	
平成18年度	237	250	44	147	191	2	
平成19年度	231	214	39	161	191	1	
平成20年度	227	178	32	180	193	1	
平成21年度	204	168	29	204	173	1	
平成22年度	220	179	37	198	182	1	
平成23年度	217	214	32	213	184	1	
平成24年度	207	176	24	236	182	1	
平成25年度	232	227	25	250	206	1	
平成26年度	246	228	29	247	216	1	
平成27年度	256	290	38	255	217	1	
平成28年度	262	287	41	260	220	1	
平成29年度	285	318	46	269	237	1	
平成30年度	296	315	51	261	245	1	
令和元年度	304	315	51	262	252	1	
令和2年度	270	227	34	269	236	1	
令和3年度	366	358	68	283	298	1	

注：1 数量は、立木販売は立木材積で示し、素材販売は素材（丸太）材積で示している。

2 その他は雑収である。立木販売の数量には分収林及び官行造林の民収分を含む。立木販売の金額には、立木販売のほかに環境緑化用樹木、立木竹及び幼齢木補償料等を含む。計の不一致は四捨五入による。

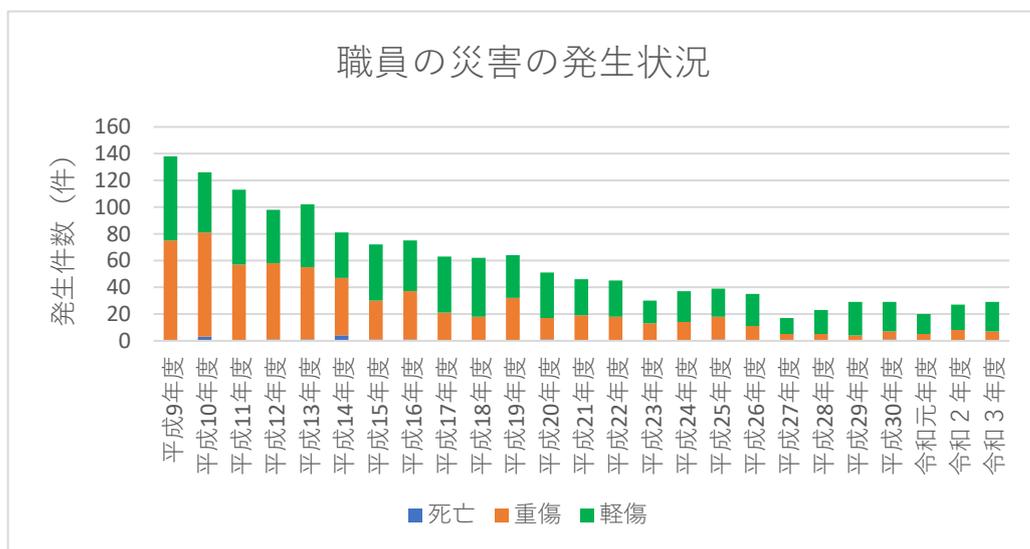
3 平成24年度までの「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」においては、立木販売の数量、立木販売の金額、その他の金額の集計方法が異なっているため、この表に記載されている値とは一致しない。



職員の災害の発生状況（件）

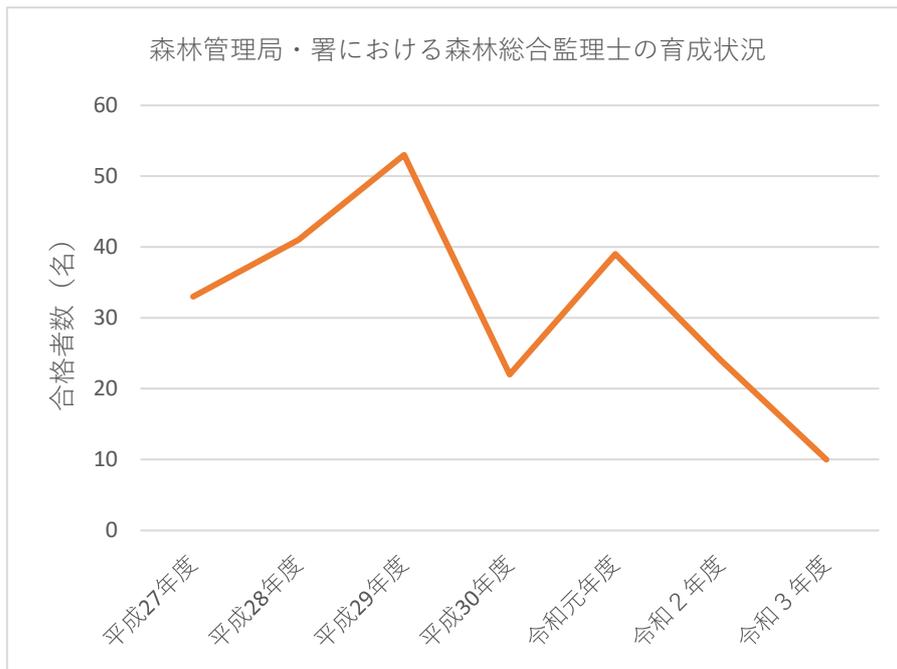
	死亡	重傷	軽傷	合計
平成9年度	0	75	63	138
平成10年度	3	78	45	126
平成11年度	0	57	56	113
平成12年度	1	57	40	98
平成13年度	1	54	47	102
平成14年度	4	43	34	81
平成15年度	1	29	42	72
平成16年度	1	36	38	75
平成17年度	0	21	42	63
平成18年度	0	18	44	62
平成19年度	0	32	32	64
平成20年度	1	16	34	51
平成21年度	0	19	27	46
平成22年度	0	18	27	45
平成23年度	0	13	17	30
平成24年度	0	14	23	37
平成25年度	1	17	21	39
平成26年度	0	11	24	35
平成27年度	0	5	12	17
平成28年度	0	5	18	23
平成29年度	0	4	25	29
平成30年度	1	6	22	29
令和元年度	0	5	15	20
令和2年度	0	8	19	27
令和3年度	0	7	22	29

注： 重傷は、休業日数8日以上を負傷である。



森林管理局・署における森林総合監理士の育成状況（名）

	合格者数
平成27年度	33
平成28年度	41
平成29年度	53
平成30年度	22
令和元年度	39
令和2年度	24
令和3年度	10



(3) 「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」と「森林・林業白書」

	国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況	森林・林業白書
根拠法	国有林野の管理経営に関する法律	森林・林業基本法
目的	前年度における国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況を公表するもの	<p>①森林及び林業の動向並びに政府が森林及び林業に関して講じた施策に関する報告を国会に提出するもの</p> <p>②講じようとする施策を明らかにした文書を国会に提出するもの</p>